

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のどれか。

1. 空中線電力
2. 無線局の名称
3. 免許の有効期間
4. 無線設備の設置場所

〔2〕 次の文は、電波法施行規則に規定する「送信装置」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信装置とは、無線通信の送信のための高周波エネルギーを発生する装置及び をいう。」

1. 空間へふく射する装置
2. これに付加する装置
3. 送信空中線系
4. その保護装置

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、25,010キロヘルツ以上の周波数の電波を使用する航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるものの最大の空中線電力は、次のどれか。

1. 50 ワット
2. 30 ワット
3. 20 ワット
4. 10 ワット

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命ぜられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 暗語を使用して通信を行ったとき。

〔5〕 免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何か月以上休止したときにその免許を取り消されることがあるか、次のうちから選べ。

1. 1 か月
2. 2 か月
3. 3 か月
4. 6 か月

〔6〕 免許人は、無線局の検査の結果について指示を受け相当な措置をしたときは、その措置の内容をどのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. 無線業務日誌に記載しておく。
3. 無線検査簿に記載するとともに報告する。
4. 適宜の用紙に記載し無線検査簿に添付しておく。

法

規

〔7〕 無線局を運用する場合において、識別信号（呼出符号、呼出名称等をいう。）は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれに記載されたところによらなければならないか。

1. 免許状
2. 免許証
3. 無線局事項書
4. 無線局免許申請書

〔8〕 無線局が自局に対する呼出しであることが確実でない呼出しを受信したときは、次のどれによらなければならないか。

1. その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も応答しないときは直ちに応答する。
2. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
3. その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
4. 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。

〔9〕 無線電話通信において、「終り」の略語を使用する場合は、次のどれか。

1. 通報がないことを通知しようとするとき。
2. 周波数の変更を完了したとき。
3. 通報の送信が終わるとき。
4. 通信を終了するとき。

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、次のどれによらなければならないか。

1. 5 分間以上待って呼出しを行う。
2. その通信が終了した後に呼出しを行う。
3. 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
4. 現に通信を行っている他の無線局にその通信の終了時間を確かめ、終了を待って呼出しを行う。

〔11〕 ノータムに関する通信の優先順位はどのように定められているか、次のうちから選べ。

1. 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
2. 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
3. 緊急の度に応じ、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
4. 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

〔12〕 航空機の遭難に係る遭難通報に対し応答した航空機局のとるべき措置は、次のどれか。

1. 付近を航行中の航空機に遭難の状況を通知しなければならない。
2. 救助上適当と認められる無線局に対し、当該遭難通報の送信を要求する。
3. 直ちに遭難に係る航空機を運行する者に遭難の状況を通知する。
4. 直ちに当該遭難通報を航空交通管制の機関に通報する。